

保健事業報告

健幸まちづくり推進協議会資料

事業	令和6年度まとめ	令和7年度計画
母子保健事業	1. 乳幼児健康診査事業 乳児前期健診 対象者 118人 受診者118人 受診率100% 乳児後期健診 対象者 140人 受診者139人 受診率99.3% 1歳8か月児健診 対象者 144人 受診者143人 受診率99.3% 2歳5か月児健診 対象者 157人 受診者148人 受診率94.3% 3歳5か月児健診 対象者 143人 受診者143人 受診率100% 2. 健康相談・健康教育事业 子育て相談 参加者 延304人、離乳食教室 参加者 延39組 1歳すくすく教室 参加者 延27組 ハッピー親子教室 参加者 延89組 3. 家庭訪問(延) 妊産婦 124人 乳児期 138人 幼児32人 その他 3人 4. 産前産後支援 母子手帳交付 118件(双子1件) 妊婦面接(転入者含む)124人 マタニティ訪問(希望者のみ) 46人 電話ヒアリング 10人 妊婦歯科健診受診者 41人 妊婦健診受診実人数 181人 延1,380人 産婦健診受診実人数 110人 延214人 新生児聴覚検査 104人 1か月児健診受診者 95人 産後ケア利用者 訪問型 実15人 延61人 伴走型相談支援事業 からだケア 延65人 たまびよくらぶ 延47人 ほっこの日 延99人 随時相談 延57人 出産応援ギフト給付 117人 子育て応援ギフト給付 116人 5. その他 不妊治療助成 実35人(実)(うち男性2人) 延51件 不育治療助成 実2人 延4件 フッ素塗布 134人 未熟児養育医療給付 実 5人、延14件	1. 産前産後支援 妊娠届出時全数保健師等の面接を行う。 希望者にはオンライン(ZOOM)による面談、相談実施。 妊婦健診、妊婦歯科健診、産婦健康実施。 新生児聴覚検査費助成を実施。 1か月児健診を委託にて実施し、受診券を交付。 産後ケア事業継続実施。 産前産後サポート事業(マタニティ訪問)実施。 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を実現するため、 伴走型相談支援事業を委託にて継続実施。 妊婦のための支援給付金事業を実施。 2. 乳幼児健康診査事業 乳児前期健診、乳児後期健診、1歳8か月児健診、 2歳5か月児健診、3歳5か月児健診を毎月実施。 令和7年度より新たに5歳児健診を実施する。 3. 健康相談・健康教育事业 子育て相談: 予約制で園部地区・八木地区で毎月1回実施。 日吉地区・美山地区は隔月で実施。 離乳食教室: 毎月1回実施。 1歳すくすく教室: 年4回実施。 ハッピー親子講座: 7回シリーズを年2回実施。 4. 家庭訪問 妊産婦から乳幼児までの希望される方必要な方に訪問を実施。 赤ちゃん訪問は全数訪問実施。 5. その他 フッ素塗布、未熟児養育医療給付事業、不妊治療給付事業の 継続実施。
成人・老人保健事業	1. 市民健診(各種健康診査、がん検診) 各がん検診と特定健診等のセット検診実施:23日間(内、休日1日) 歯周病予防健診:30歳から70歳の間の5歳刻みの方に実施 404人受診(受診率12.5%) 後期高齢者歯科健診:満75歳の方に実施(嚥下機能評価も実施) 133人受診(受診率24.1%) 骨粗しょう症健診:超音波による骨密度測定と栄養指導262人受診 2. 健康教育、健康相談 CKD(慢性腎臓病)予防教室 2回シリーズ 実40人 糖尿病重症化予防事業(74歳以下)2人 市民健診結果報告会 7会場12日間 実727人 特定保健指導 積極的支援 10人、動機づけ支援 55人 その他出前講座 7回 延218人 3. 介護予防教室 体力測定会 4会場 延101人 結果報告会 4会場 延45人 介護予防サポーター養成講座6回シリーズ 実17人、延96人 介護予防サポーター研修会 参加者48人 市民公開講座(地域型介護予防事業) 参加者 85人 4. 受動喫煙防止対策・禁煙支援 禁煙相談会 2回 4人 健康教室、お城まつり等イベント会場で啓発物品配布 啓発: 広報南丹、CATV文字放送、LINE、HP掲載、からだカルテ プッシュ通知 受動喫煙防止条例の制定に関するポスター、チラシ作成、配布 タバコ対策チーム会議 7回 防煙教室 2回 5. 精神保健事業 睡眠講座(明治国際医療大学共催) 実21人 市ホームページ等での自己チェックシステム『こころの体温計』 アクセス数 延7,144件 6. 後期高齢者のフレイル予防 通いの場でのフレイル予防教室 (低栄養・オーラルフレイル・ロコモ予 防) 13カ所 延171人 後期高齢者の低栄養予防個別指導 初回面接19人、(内、継続支 援9人) 後期高齢者糖尿病性腎症重症化予防個別指導 2人 後期高齢者の糖尿病コントロール不良者受診勧奨 3人 高血圧症コントロール不良者受診勧奨 63人 健康状態不明者への対応 90人 7. 情報発信 「健診受診勧奨」「フレイル予防」等、市の広報誌「広報南丹」の 『なんたん健幸ノート』にテーマに沿った専門家のコラムを盛り 込み掲載。 ・「南丹市ホームページ」「南丹市Line」「南丹市Instagram」を活用した 情報提供 ・健幸ポイント事業「からだカルテ」のアプリを通じて情報提供 ・ホームページでの健康情報の発信 ・健幸ステーションを活用して、「高血圧を予防する生活習慣」 「たばこ対策」等、リーフレットの配架、パネル展示などで啓発を実施	重点目標⇒「ひとりひとりの健幸を高めよう」 ①ポピュレーションアプローチによる運動習慣の促進 ②『ナトカリ比』を取り入れた食事指導で、高血圧を予防する ③糖尿病および糖尿病性腎症の予防 1. 市民健診 個別乳がん検診・個別子宮頸がん検診:5月～12月実施 個別胃がん検診(内視鏡検診):7月～12月実施 個別特定健診・すこやか健診:5月～9月実施 * 個別(医療機関での健診) 集団健診(特定健診・すこやか健診・メタボ予防健診・肺・胃・大 腸・子宮・乳がん検診のセット健診):4月～5月 歯周病予防健診:7月～12月、30～70歳の5歳刻み節目 後期高齢者歯科健診:7月～12月、75歳対象 骨粗しょう症健診の実施 2. 健康教育・健康相談 CKD(慢性腎臓病)予防教室 糖尿病重症化予防事業 市民健診結果報告会 特定保健指導 3. 介護予防教室 体力測定会、体力測定会の結果報告会 11月に市内4会場 介護予防サポーター養成講座の開催 介護予防サポーター養成講座修了生(元気アップなんたん)の支 援 4. 受動喫煙防止対策・禁煙支援 禁煙相談会:保健師と薬剤師による個別相談 2回 健康教室等で啓発物品配布 5. 精神保健事業 睡眠講座の実施 市ホームページ等の自己チェックシステム『こころの体温計』 6. 高齢者のフレイル予防 通いの場でのフレイル予防教室の実施 低栄養、糖尿病重症化予防の個別指導 高血圧症、糖尿病未治療者対策 健康状態不明者への対応 7. 情報発信 健康情報の発信 機会をとらえた情報発信(随時)

事業	令和6年度まとめ	令和7年度計画
予防接種事業	1. A類疾病定期予防接種 BCG 116人 5種混合 301人 4種混合 187人 2種混合 160人 MR1・2期 323人 ヒブ 163人 小児肺炎球菌 460人 日本脳炎1期 490人 日本脳炎2期 180人 水痘 264人 ロタ 241人 B型肝炎 339人 子宮頸がん 777人 風しん5期 3人(風しん抗体検査 14人) * R6で終了 2. B類疾病定期予防接種 高齢者インフルエンザ 5,793人 高齢者用肺炎球菌 65人 新型コロナ 2,228人(R6～) 3. 定期外予防接種助成 風しん予防接種助成事業 23人(うち男性3人)	1. A類疾病定期予防接種 個別接種を実施。 BCG、5種混合(4種混合)、2種混合、MR1期、MR2期、 水痘、ポリオ(不活化)、日本脳炎Ⅰ期Ⅱ期、ヒブ、小児肺炎球菌、 ロタ、B型肝炎、子宮頸がん 2. B類疾病定期予防接種 高齢者インフルエンザ 高齢者用肺炎球菌 新型コロナ 带状疱疹(R7～) 3. 定期外予防接種助成 風しん予防接種助成事業
健幸都市プロジェクト	1. 健幸アンバサダー養成講座 受講者46人(8/28 24人、10/16 12人、10/30 10人) ※10/16、10/30は民生児童委員対象 (R5年度:26人) 2. 健幸ポイント事業 「なんたん健幸ポイント2024」参加者1,907人 健幸都市応援事業所 9事業所 3. 健幸運動教室Yori-2024 明治国際医療大学包括協定・健幸まちづくり推進協議会 食生活改善推進員育成研修2回目(運動)協同開催 参加者51人(うち食生活改善推進員 16人)	1. 健幸アンバサダー養成講座 R8年1月開催予定 定員100人 2. 健幸ポイント事業 「なんたん健幸ポイント2025」定員700人 健幸都市応援事業所 10事業所 3. 健幸運動教室Yori-2025 明治国際医療大学包括協定・健幸まちづくり推進協議会 食生活改善推進員育成研修2回目(運動)協同開催
献血事業	安全で持続可能な血液供給体制を構築するための献血思想の普及啓発を継続的に行うとともに、計画的な献血者の確保をはかるための献血推進運動を実施した。また、献血時に骨髄バンク登録もお願いし、新たに25名の方が登録された。 ＜令和6年度献血及び骨髄バンク登録者実績＞ 実施回数: 16日間(18回) 実施場所: アスエルそのべ 1回 国際交流会館 2回 明治国際医療大学 2回 マルホ発條工業(株) 1回 京都建築大学校 2回 旧日吉はーとぴあ 1回 市役所八木支所 2回 ジャトコ株式会社 2回 京都府園部総合庁舎 2回 南丹警察署 1回 シミズふないの里 1回 湖池屋京都工場 1回 献血受付者:551人 献血実施者:491人(R5年度 539人) 骨髄バンク新規登録者 :25人(R5年度 31人)	赤十字血液センターの採血車による献血を18日間、18箇所で行う計画。 このほか、全国的に展開される「愛の血液助け合い運動」や「はたちの献血キャンペーン」等と合わせて、広報紙等を通じて効果的な普及啓発活動を実施予定。 ＜令和7年度移動献血実施予定＞ 4月24日 国際交流会館 10月30日 京都建築大学校 5月21日 明治国際医療大学 11月26日 明治国際医療大学 6月10日 京都建築大学校 12月10日 ジャトコ株式会社 7月8日 シミズふないの里 12月25日 国際交流会館 7月30日 中部総合医療センター 1月28日 園部総合庁舎 8月22日 南丹警察署 2月日未定 マルホ発條工業(株) 湖池屋 3月10日 シミズふないの里 8月26日 国際交流会館 3月12日 ジャトコ株式会社 9月4日 ジャトコ株式会社 3月30日 旧日吉はーとぴあ 9月29日 園部総合庁舎
食育推進事業	◆食育の取り組み 1. CATVで食育啓発⇒食育番組「おいしく・たのしく・ごちそうさま」で地域での食育の取組などの情報を月1回放送 2. 「健幸食育レシピコンテスト」事業を地域と連携して実施 市内小学校7校・中学校4校より応募 応募数:463点の応募(小学生233点・中学生230点) ◆栄養業務 1. 乳幼児健診、子育て相談、離乳食教室、すくすく教室で栄養指導実施 (個別指導 延920人、集団指導 延128人) 2. 市民健診結果報告会、骨粗しょう症健診時等に個別で栄養指導実施 (延307人) 3. 食事診断・食習慣アンケートの実施と今後の課題 ⇒<u>野菜を1日350g以上摂取する者の割合19.0%</u> <u>塩分摂取量 男性1日11.2g、女性8.4g</u> (目標:男性7.5g未満、女性6.5g未満) 今後も減塩についての取組み、啓発が重要である。 4. 食生活改善推進員育成研修⇒3回延べ48名参加 5. 食育の啓発 健幸レシピ作成(年4回発行:乳幼児健診、健康教育、健幸アンバサダー通信等で啓発:4669枚) ライン、ホームページ、健幸ポイント送信拠点に黒板を置いて啓発	◆食育の取り組み 1. 食生活改善推進員育成研修・・・会員が健幸なまちづくりを目指し、地域での食育活動を実施できるよう育成研修を年3回計画実施(うち1回運動の回はYori-2025とコラボ事業とする) 2. 「食育レシピコンテスト」事業の取組みで、地域・学校・各団体と連携し実施(テーマ南丹市で作られている食材を使った簡単減塩レシピ) 3. 「健幸レシピ」の発行(年4回) 4. 南丹市公式LINE(毎月19日)や健幸ボードでの食育発信 ◆栄養業務 1. 特定保健指導・重症化予防における栄養指導の実施 2. 食事診断の実施(バランス、塩分摂取量、野菜摂取量確認) 3. フレイル予防(低栄養予防)のための栄養指導 4. 乳幼児健診、子育て相談、離乳食教室、すくすく教室での栄養指導(個別指導、集団指導、訪問指導) 5. 地域からの依頼による出前講座(サロン等) 6. 食生活改善推進員養成講座の開催 7. 食生活改善推進員育成研修(年3回開催予定) 8. 食生活改善推進員との連携調整を随時行う 9. 保育所栄養士、小中学校栄養教諭との連携